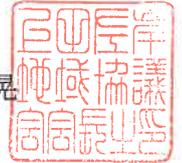


令和6年1月29日

上田市長 土屋陽一様

上田左岸地域協議会
会長 小山 晃



意見書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

件名	上田市のまちづくりに関する補助金等の検討について (第1分科会)
意見内容	<p>まちづくりの中心である自治会の収入は、社会の高齢化と人口減少に伴い今後も減少が見込まれる中で、自治会が今後もまちづくりを行っていくためには、安定した収入である市補助金による継続的な支援が必要となっています。</p> <p>自治会を対象とした市の補助金等は現在14ありますが、交付を受けるには1年前に要望の提出が必要であったり、補助対象が限定されるもの、また補助事業の内容が長年変更されていないものもあり、自治会の現状や要望に合わせた見直しを図る必要があります。</p> <p>第1分科会では、担当課から補助制度について資料の提供や説明を受けたほか、上田市自治会連合会が作成した「自治会の活性化に向けて」の報告書（令和3年2月発行）や上田ビジョン研究会の「上田の大危機を乗り越えるための5つのヒント」（令和4年11月発行）などの資料も参考に調査研究を行いました。また、補助金の申請や課題などを把握するため、上田左岸地域の63自治会の自治会長を対象にアンケート調査を行いました。</p> <p>その結果、次のとおり提言いたします。</p> <p>(提言内容)</p> <p>1 自治会活動を支える補助金の見直し</p> <p>高齢者の増加と自治会未加入者の増加もあいまって、自治会費収入は減少し、今後も減少すると考える自治会長が8割を超えています。自治会費を値上げすることも困難なため、自治会事業を中止、あるいは縮小せざる</p>

意見内容

を得ない自治会が多く、役員報酬や作業日当の引き上げなども困難であり、自治会役員の引き受け手や自治会内作業への参加者が減少する一因ともなっています。

こうしたことから、それぞれの自治会がニーズに応じ柔軟に活用できるよう、自治会活動を支える補助金の見直しの検討が必要です。

(1) 共同集会施設の新築、改修、耐震等の補助金

この補助金は、「基幹集会施設」のみを対象としていますが、特に農山村地域では、自治会を構成する「班」が集会施設を持ち、自治会を支える班活動を行っており、班住民の費用負担は大きい現状です。

- ①「基幹集会施設」に加え、「班」の集会施設の補助対象への追加、若しくは別途補助金の創設
- ②改修補助金は、交付後5年間は交付されないが、年次計画による改修を可能にするなど、交付制限の期間の見直し
- ③基幹集会施設の改修等が緊急に必要となった場合は、当年度に補助要望と申請も可とするなど柔軟な対応を図る。

(2) コミュニティ活動等交付金

この交付金は、環境整備や自治会施設の維持管理や運営に関する自由度の高い交付金であり、今後の自治会活動を支援する上で重要です。自治会が地域課題解決や住民ニーズに応じた独自の取り組みを一層推進できるよう、地域の状況に合わせて自由に使える工夫が必要です。

① コミュニティ活動交付金

基本的な自治会活動を支援するため、現行の均等割額に加え、世帯割による加算を導入。また、自治会費の減少が著しい自治会については、新たな補助算定基準を検討。

② 地域環境整備交付金

市内の自治会は50世帯未満から1,500世帯を超える規模まで様々ですが、均等割額は一律年額10,000円、世帯割額も1世帯280円と一律の基準で算定されています。

自治会それぞれが、地域環境整備に必要な事業を十分行えるよう、自治会の規模に応じた見直しが必要です。

2 住民の安全・安心、生活環境を確保する補助の充実

地域内の災害や犯罪防止のため、自治会では防災用資機材の整備や防犯灯設置などを行っており、一層の整備を希望する自治会が多い状況です。

(1) 防災用資材、防犯灯、小型除雪機等補助金

災害や防犯の対策は自治会の最大課題であり、地域防災力の向上を図る必要があります。

意見内容

- ①現年度に必要となる緊急度の高い防災用資材、防犯灯の設置等は、現年度の申請や交付も可能として予算面の対応も図る。
- ②防犯灯の撤去単価を増額し、破損修理も対象とする。
- ③自治会が行う市道の除雪に対する燃料等への補助

(2) ごみ集積場設置、資源回収促進補助金

資源としてリサイクルできるものは回収して、ごみの減量化と生活環境の保全を推進するため、次の検討が必要です。

- ①ごみ集積場の修繕も補助金の対象とする。
- ②回収単価が下落しており、回収最低単価（3円/kg）の増額と一升びんや布類の回収の推進

3 自治会事務の合理化と運営への支援

(1) 補助金の見直しに加え、次の検討が必要です。

- ①自治会の負担軽減の一層の推進や、運営に関する研修などの充実を図るソフト面の支援
- ②住民への効率的な伝達方法の検討と、自治会の相談が円滑に進むよう行政側の職員の配置

4 自治会長に対する丁寧でわかりやすい補助制度等の説明

(1) 自治会長が1年で交代する自治会も多いことから、補助金制度の理解を深め申請等の手続きの円滑化を図るための検討が必要です。

- ①地区連合会ごとの説明会の開催や、補助を活用した実例を市ホームページへ掲載

5 まとめ

今回のアンケート調査は、市内241自治会中、左岸地域の63自治会長を対象に行いましたが、別添資料のとおり様々な意見や要望が寄せられました。

この意見書には、主な課題と思われる項目を記載しましたが、その他の意見や要望も今後の補助金実施の参考にしてください。

市の財政は、将来的に大変厳しい状況が続く見込みではありますが、地域内分権の確立に向けて自治会への支援の充実強化は不可欠と思われます。

本意見書の提言内容の実現に向けては、上田市自治会連合会などとも協議を図り、よりよいまちづくりを進めていただきたいと思います。

資料1 参照

<p>件 名</p>	<p>「食事を介した多世代交流の場」への支援について (第2分科会)</p>
<p>意見内容</p>	<p>第2分科会では、地域の教育や福祉の課題について、研究を行っています。 報道では、子どもの「相対的貧困率」や不登校児童生徒の増加が深刻な社会課題になっている事を伝えています。私たちの地域でも、コロナ禍による行事の中止や縮小で多世代交流の場がなくなり、子どもたちの参加も少なくなりました。このような状況を改善するため、新しい取り組みとして公民館を利用し「食事を介した多世代交流の場」の開催を提案します。</p> <p>上田市では、現在約12カ所で「子ども食堂」が開催されています。</p> <p>このうち、塩田地区・武石地区では公民館を利用した「子ども食堂」が運営されており、塩田地区の「みんなのしおだ食堂」は、令和元年長野県教育委員会から「公民館活動アワード」を受賞しています。</p> <p>第2分科会では、「みんなのしおだ食堂」を視察し、参加者や運営スタッフから下記のような意見を聞き取りました。(資料2-1 参照)</p> <p>成 果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 参加者のほとんどが親子参加で保護者も楽しんでいる（母親の居場所になっている） 2 学習支援が受けられる。（長野大学学生ボランティアによる） 3 公民館で行っている安心感から気軽に参加できる。光熱費等無償で利用させていただくメリットが大きい。 4 運営に参加するボランティアの生きがいになっている。 <p>課 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「子ども食堂」という名称は、正しい理解が浸透している状況でないため、多世代交流の場、居場所作りの場としてのアピールが必要である。 2 運営スタッフの高齢化（発足当時からメンバーが変わらない） 3 平日の午後に運営できれば良いが、現状は厳しい。 <p>この視察から、「信州こどもカフェ」事務局、長野大学「地域づくり総合センター」の関わりが重要と知り、それぞれの担当者から聞き取りを行いました。</p> <p>その結果を精査し、第2分科会として以下の通り提言します。</p> <p>(提言内容)</p> <p>1 信州こどもカフェ対応窓口の設置</p> <p>長野県では、学習支援、食事提供、多世代交流、悩み相談、学用品等のリユースなどの複数機能は無償または安価で提供し、月1回以上計画的に開催されている子どもの居場所を「信州こどもカフェ」と呼び取り組みを行っています。(資料2-2 参照)</p>

意見内容

東信地区は上田地域振興局総務管理課県民生活係が信州子どもカフェ事務局となっています。これに対応する上田市としての窓口設置を希望します。

窓口の機能として、県と市の連携、上田市公民館等への情報提供が必要と考えます。

2 公民館への要望

(1) 信州子どもカフェ事務局は新たな「子ども食堂」の立ち上げ、食品等供与に協力しています。同事務局からの情報や子ども食堂の資料を設置・掲示し、積極的に地域発信していただきたい。

(2) 上田市の「子ども食堂」は民間施設を利用しているところが多く、光熱水費等の値上がりに苦慮しています。上田市として、公民館施設の無償提供、光熱水費の免除について、今後も継続していただきたい。

(3) 上田市の「子ども食堂」運営主体は様々です。公民館は、施設提供者であり、運営は他団体が行う事になります。すでに活動している「子ども食堂」には、公民館利用のメリットを伝えていただきたい。また、新たに運営を行おうとする者に対しては、県や市、社協等の支援について情報を提供していただきたい。なお、運営主体として考えられる団体は以下の通りです。

- ① 住民自治組織
- ② 社会福祉協議会
- ③ 地域包括支援センター
- ④ 民生児童委員会
- ⑤ NPO 法人 等

3 社会福祉協議会等活動を支援する団体への支援

家庭で余っている食べ物を地域や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する フードドライブは、左岸地域でも複数の地域で行われています。この事業や子ども食堂を支援する社会福祉協議会等の団体に対し、上田市として総合的な支援を希望します。

4 長野大学との連携強化について

2017年の公立化に伴い「地域づくり総合センター」が設置されました。地域の資源や課題の掘り起こし、課題への取り組みのコーディネート、学生ボランティアの派遣等を行っています。学生達が、さらに市や地域の福祉活動へ参加しやすい環境となるよう、ボランティア活動が単位認定に繋がるようなシステムづくりを大学側と検討していただきたい。

件 名	城南、塩田、川西地域の既存資源を有効活用した地域活性化策について (第3分科会)
意見内容	<p>第3分科会は(産業・地域振興)が調査研究のテーマで、左岸地域の既存資源を有効活用した地域活性化策について、調査研究を行いました。</p> <p>1 左岸地域(城南、塩田、川西の3地域)の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南地域は、宅地化が進み、人口が増え、商業系施設の集積地 ・塩田地域は、豊かな田園風景と文化遺産と別所温泉を有する観光地 ・川西地域は、豊かな農地、山林に恵まれた田園地帯 <p>2 地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田電鉄別所線と国道143号があり、城南、塩田地域は別所線、川西、城南地域は国道143号でそれぞれ繋がっている。 ・沿線には、魅力的な観光・文化遺産、農業資源がある。 <p>調査研究を行う中で、既存資源のひとつである農業資源を活用した地域活性化策について、以下のとおり提言します。</p> <p>(提言内容)</p> <p>1 左岸地域における農産物のブランド化を推進し、生産力向上と生産者、農業者団体が安定した収益が得られるよう継続的な支援・育成をお願いします。</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上田市は、気候風土が生み出す高品質で多種多様な農産物を「信州なないろ農産物」としてブランド化と地産地消を推進しております。山口大根など地域ブランドとして販売ルートが確立されている事例もあります。 ・丸子地域陣馬台地のワイン用ぶどうを使用したシャトーメルシャン椀子ワイナリー、稲倉の棚田の酒米により醸造された日本酒などが認知度の高い事例となっています。 ・塩田産大豆「ナカセンナリ」を使用し、加工した味噌、豆腐などは、こだわり商品として各地で販売されています。 ・浦里地域にJAが規格外の農産物の加工工場としてドライフルーツ、乾燥野菜の生産施設を整備し、試験販売が開始される予定です。

意見内容

【課題】

- ・左岸地域では、米、麦、大豆、ぶどうなど高い晴天率、適度な雨を活かした農産物が生産されているが、小規模栽培も多く、PR不足もありブランド化に向けては、生産者、関係機関、市が連携し取り組みを進めていくことが必要です。
- ・農産物を加工し商品として販売する6次産業化は、費用面、衛生管理、専門的知識が必要で、生産者、農業者団体にとっては、大きなハードルです。又農産物を安定して供給できる生産体制が必要と考えます。
- ・持続可能な農業を維持するため生産者の安定した所得の確保が必要です。

【提言】

- (1) 左岸地域で栽培されている「こうじいらず」、「ナカセンナリ」の大豆は、希少性のある品種です。地域ブランドとして広く認知されるよう関係機関と連携の上、ブランド化の推進に向けた取り組みと6次産業化による新たな商品開発の提案について支援をお願いします。
- (2) こうした特産物が継続して安定的に生産できるよう遊休農地の活用について検討をお願いします。
- (3) 浦里地域で取り組んでいる農産物規格外品の乾燥工場の加工、販売について、食品ロスの解消、生産者の所得向上など新たな価値観として期待がされていますので支援をお願いします。

2 左岸地域における特産物の知名度の向上を目指し、多様なPRと販路開拓、販路拡大による地域活性化の推進をお願いします。

【現状】

- ・上田市は、地場産品を使用しメニューを提供している店を地産地消推進店として認定し、ブランド化を図る取り組みをしています。
- ・姉妹都市である東京都練馬区に上田産品を取り扱う「信州上田物産館」を整備し、新たな販路を開拓しています。
- ・情報発信の手段として、SNSを活用したPRを行っています。

【課題】

- ・地産地消推奨店を例にとっても、左岸地域において、制度を知らない店舗もあると聞いています。効果的な周知の方法の検討が必要です。
- ・左岸地域は、青木峠バイパス開通後の地域間交流の促進が期待されます。先を見据え、通過点にならず地域に滞留してもらう取り組みが必要と考えます。

<p>意見内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市内外の幅広い年齢層に左岸地域の特産物を目にしてもらうためには、多様な販路の開拓、拡大が必要です。 <p>【提言】</p> <p>(1) 地産地消推進店の周知を制度面も含め広く行ってください。</p> <p>(2) 「ナカセンナリ」を使用した味噌に代表される大豆加工品については、購買意欲がわくプロモーションと付加価値を付けたPRをお願いします。</p> <p>(3) 小規模でも地元生産者が販売できる施設の充実が必要と考えます。左岸地域の空き家、空き地を含めた利活用について、希望者と物件所有者との協議に協力をいただくなど地域活性化への支援をお願いします。</p> <p>(4) 別所温泉観光協会と上田電鉄との協業による、別所線の無人駅を利用し、物品販売及び各種サービスを行い、誘客の向上を図る「無人駅ナカサービス」が開始されました。新たな販路開拓、販路拡大の手段として期待されますので取り組みに対し支援をお願いします。</p> <p>資料3 参照</p>
-------------	---

第9期上田左岸地域協議会

1. 開催経過

令和4年度

回数	期 日	会議内容
第1回	令和4年4月20日 (水)	合同委嘱式終了後開催
第2回	5月19日 (木)	・地域協議会について ・地域協議会開催日程について ほか
第3回	6月16日 (木)	塩田平の日本遺産視察
第4回	7月19日 (火)	・川西地域内視察 ・市民の森スケート場の廃止について
第5回	8月4日 (木)	城南地域内視察
第6回	9月15日 (木)	・上田市の公共交通の課題と地域公共交通計画の策定について ・上田・長野間における水道事業広域化の検討について ・調査研究について
第7回	10月20日 (木)	調査研究について
第8回	11月17日 (木)	・分科会について ・各分科会協議
第9回	12月15日 (木)	分科会ごとの調査・研究
第10回	令和5年1月19日 (木)	分科会ごとの調査・研究
第11回	2月16日 (木)	・旧西塩田小学校施設の譲渡について ・上田市文化財保存活用地域計画について ・令和5年度わがまち魅力アップ応援事業選考審査会 ・分科会ごとの調査・研究
第12回	3月16日 (木)	・住民自治組織交付金要綱及び活力あるまちづくり支援金の一部改定について ・分科会ごとの調査・研究

令和5年度

回数	期 日	会議内容
第1回	令和5年4月20日 (木)	分科会ごとの調査・研究
第2回	5月18日 (木)	・上田市塩田の館の有効活用について ・各分科会からの中間報告について ・分科会ごとの調査・研究
第3回	6月15日 (木)	分科会ごとの調査・研究
第4回	7月20日 (木)	分科会ごとの調査・研究
第5回	8月17日 (木)	・住宅政策課による施策説明 ・分科会ごとの調査・研究
第6回	9月21日 (木)	・分科会ごとの調査・研究
第7回	10月19日 (木)	・上田市都市計画マスタープラン及び上田市立 地適正化計画の改定について ・分科会ごとの調査・研究
第8回	11月16日 (木)	・各分科会からの調査研究にかかる進捗状況の 報告 ・分科会ごとの調査・研究
第9回	12月21日 (木)	・上田市に提出する意見書(案)について ・分科会ごとの調査・研究
第10回	令和6年3月19日 (火)	意見書に対する市からの回答について

2. 分科会名簿

◎分科会長 ○副分科会長

第1分科会

氏名	選出団体等	地区
宮澤 広一(令和5年3月まで)	川西商工振興会	川西
加藤 静雄(令和5年4月から)	川西商工振興会	川西
小林とみ子	個人依頼	城南
◎小山 晃	川西地区自治会連合会	川西
富田健一朗	医療法人共和会塩田病院	塩田
小熊 充(令和5年3月まで)	塩田地区自治会連合会	塩田
○羽田 明(令和5年4月から)	塩田地区自治会連合会	塩田
樋口かほる	塩田の里交流館運営委員会	塩田

第2分科会

氏名	選出団体等	地区
◎浅川 司	個人依頼	塩田
田中 敏子	川辺泉田まちづくり協議会	城南
○西入 直喜	城南地区環境建設協議会	城南
宮坂 文子	個人依頼	城南
遠藤 直子(令和5年3月まで)	川西地区民生委員・児童委員協議会	川西
宮崎 直子(令和5年4月から)	川西地区民生委員・児童委員協議会	川西
宮下 法子	塩田地域学校共同活動運営委員会	塩田
清水 美穂(令和5年3月まで)	川西小学校 PTA	川西
柳澤 裕理(令和5年4月から)	川西小学校 PTA	川西

第3分科会

氏名	選出団体等	地区
○赤堀 三幸	個人依頼	川西
田村 実英	個人依頼	川西
◎松田 和夫	上田原地域商工振興会	城南
安江 昭彦	川辺町商工振興会	城南
山岸巳津雄	北天神町古吉町線道路拡幅促進会	城南
倉島 博(令和5年3月まで)	別所温泉観光協会	塩田
山田 圓淳(令和5年4月から)	別所温泉観光協会	塩田
和田 昭子	JA 信州うえだ塩田支所	塩田

上田市のまちづくりに関する補助金等アンケート（まとめ）

1 調査方法

上田左岸地域63自治会の自治会長あてに8月9日又は10日の市からの定期送達によりアンケート用紙を配布し、9月の定期送達の際、又は塩田・川西の各地域自治センターへの提出を依頼。

2 回答状況

送付自治会数	回答自治会数	回答率
63自治会	55自治会	87.3%

3 回答内容

問1 上田市の自治会対象の補助制度について

【1-1】上記補助制度に対する意見や要望がありましたらお聞かせください

内容は別紙

【1-2】自治会に対する新たな補助の要望はありますか（複数回答可）

- ①自治会運営に対する補助を増やしてほしい（組織運営に要する事務費）
 ②自治会活動に対する補助を増やしてほしい（各種活動に要する事業費）
 ③その他

	①	②	③	合計
回答数	24人	25人	11人	60人
割合	40.0%	41.7%	18.3%	

問2 自治会費収入について

【2-1】自治会未加入者の増加や自治会脱会により収入は減少していますか

- ①減少している ②減少していない

	①	②	合計
回答数	37人	18人	55人
割合	67.3%	32.7%	

【2-2】将来的に自治会費収入の予測はどうか

- ①大きく減少 ②少し減少 ③変わらない ④増える

【2-3】収入が減少していた場合、どんな対策をしていますか（複数回答可）

- ①支出を減らしている（事業費、報酬の減等）
 ②自治会費の値上げを行っている
 ③その他

	回答数	割合	対策		
			支出を減らす	自治会費の値上げ	その他
①大きく減少	13人	23.7%	9人	1人	3人
②少し減少	33人	60.0%	25人	3人	7人
③変わらない	6人	10.9%	3人	1人	0人
④増える	2人	3.6%	2人	0人	0人
無回答	1人	1.8%	1人	0人	1人
合計	55人		40人	5人	11人

【2-4】 自治会費収入の減少に対する市の支援について

①補助等の増が必要 ②補助等の増は必要ない ③その他

	①	②	③	合計
回答数	36人	7人	8人	51人
割合	70.6%	13.7%	15.7%	

問3 自治会対象の補助制度等の説明について（複数回答可）

- ①現状でよい
 ②地区連毎の説明会を別に行うなど、理解しやすい説明を要望
 ③補助制度ダイジェスト版の作成、市HPで実例の紹介・補助申請様式の掲載等を要望
 ④その他

	①	②	③	④	合計
回答数	17人	30人	13人	2人	62人
割合	27.4%	48.4%	21.0%	3.2%	

【意見】上田市のまちづくりに関する補助金等アンケート

問1 上田市の自治会対象の補助制度について

【1-1】上記補助制度に対する意見や要望がありましたらお聞かせください

No.	補助制度	意見
1	共同集会施設の新築補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(城下)小さな自治会で新築は可能なのでしょうか？防災を含め場所、費用など大変難しく思います。
2	共同集会施設の耐震補強工事補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(塩田)自治会に対し格別な御配慮をいただきありがとうございます。7月3日に公民館耐震補強工事補助金要望書を提出しております。令和6年に着工できるようによろしくお願い申し上げます。 ・(川西)自治会内には基幹集会施設以外に9地区に集会施設があるが、耐震診断も行われていない施設がほとんど。修繕費の積み立てを行っている地区もある一方、行っていない地区もある。耐震診断も含め耐震補強工事を実施できるよう補助していただけるとありがたい。 ・(担当課に情報提供済み)(川西)以前市が「〇〇センター」の耐震診断を実施したと聞くが、その結果が自治会に伝わっていない。また、工事を行うにしても50%の補助では自治会の負担が大きすぎ実施は困難と思われる。
3	共同集会施設の改修補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(担当課に意向を伝えた)(城下)共同集会施設(市の所有施設)は建築後相当期間が経過し老朽化が顕著となってきた。現状を市の担当者との懇談会等の実施により意見交換させていただいたら幸いと考えている。 ・(川泉)今後必要になる可能性あり。 ・(担当課に回答を依頼した)(塩田)台所兼事務所の建屋(本館に連結部)を改修した場合はどの位の補助ですか？限度額は？50%ですか？500万円？審査に必要な提出書類は？提出期限は？ ・(塩田)改修補助金は一度補助が出ると5年後まで次の要望に対する補助が出ないが、改修がたくさんあるので停止期間を短縮して欲しい(2年後とか)。 ・(担当課に回答を依頼)(塩田)最近の実施例にエアコン更新とありますが、冷蔵庫の更新は対象になるのでしょうか？
4	共同集会施設の敷地購入補助金	
5	コミュニティ活動等交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・(川泉)ポイ捨て禁止の幟を自立式にしなければならず(橋やガードレール支柱禁止)、そのための杭も支給して欲しい。

6	消防施設等整備費補助金 自主防災組織防災用資機材購入補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(川泉)避難設備の充実を図りたい。 ・(塩田)それほど高額でないものまで見積もりを取らなければならないので補助金の申請がしにくい。 ・(塩田)自治会管理の「〇〇センター」は、市の「指定緊急避難場所」に指定されており、防災用資材は住民の自治会費から支払うのではなく、全額市で負担すべきである。 ・(塩田)緊急に必要な物品は予算もあるがその年度に対応して欲しい(本年(令和5年)AEDを自治会が補助金なしで購入した)。 ・(塩田)補助率アップをお願いしたい。防災資材が多く必要となる環境になってきた。 ・(塩田)大変ありがたく思っているが、次年度までの補助額が、その後、減額の見通しとのことだが、何とか確保できないか検討して欲しい。 ・(塩田)当自治会には防災用資機材がなく困っています。一式そろえたいのですが。 ・(塩田)本年度ホース3本申請したが補助は1本のみ。劣化が著しいものがあるので2本は自治会で購入予定。来年度3本申請したのでよろしくお願いします。 ・(塩田)消防ホースはこれまで3本ずつ要望し要望どおりに補助金が支給されたが、今年度は2本しか認められなかった。毎年3本ずつ計画的に入替を行っているので要望どおり認められないのは困る。 ・(塩田)一年前に要望を出さなければならないが、緊急の場合は予算が残っていればなんとかならないか。 ・(川西)全額補助にならないか
7	防犯灯の電気料補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(川泉)電気料金については今後下がる見込みはないので補助率の引き上げを希望します。
8	防犯灯の設置事業等補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(川泉)破損等の修理も対象として欲しい。 ・(塩田)限られた予算の中ありがたく思う。 ・(塩田)ポール撤去が上限10,000円だが、撤去し処分してもらうのに高額な費用がかかるるので、もう少し金額を上げて欲しい。 ・(塩田)金額の上限設定でなく、設置台数1台についての補助金にして欲しい(1年に1台しか防犯灯が設置できない)
9	小型除雪機購入費補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(塩田)自治会が自主的に市道を除雪する場合、除雪に関わる①車両の燃料費・修繕費、②オペレーターの人件費、③車両の保険料・各種税金などの費用の補助をお願いしたい。市道であるので本来は市が責任をもって行うべきだが、自治会が肩代わりして行っている。 ・(塩田)除雪機本体の補助があっても除雪する方への手間賃などソフト面の補助が欲しい。除雪をボランティアに頼るのは限界がある。

10	資源回収用具収納施設設置費補助金	
11	ごみ集積場設置費補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・(城下)カラス除けネットが1つ4,000円近くする。ここ2年ほど古くなっていて更新の希望や新規の要望が増えているので補助して欲しい。 ・(川西)予算枠が少なく要望がなかなか通らない。修繕等は全額自治会負担で行っており負担が重い。
12	資源回収促進交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・(川泉)自治会としても回収増を図っているが、回収業務等をボランティアでやってもらっているので増額して欲しい。
1~4		<ul style="list-style-type: none"> ・(城下)共同集会施設の補助内容は制限が多く、利用上のハードルが高いため、1年任期の役員は事務、調整の負担などを考えると消極的になる傾向がある。コロナ禍で施設利用が大きく落ち込んでいる理由もある(施設利用が特定の住民になりやすい)。ハードルを下げる工夫があればお願いしたい。 ・(塩田)共同集会施設において各班単位の集会場が老朽化又は無い状態があり、自治会活動に支障があり補助金対象にして欲しい。
1・3		<ul style="list-style-type: none"> ・(塩田)倉庫のようなものも含めて欲しい。
1~3		<ul style="list-style-type: none"> ・(塩田)班の集会施設にも補助できないか。 ・(川西)大変老朽化しており避難所としての機能に耐えられず改修するには事業の絶対額に対し補助率が低いので考えていただきたい。
5~12		<ul style="list-style-type: none"> ・(城下)もう少し利用・理解しやすい(申請しやすい)工夫があればお願いしたい。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・(川泉)補助金制度の決定にはその時代の背景となった問題等がありその時の決定内容には妥当性があったと思う。しかしながら、現状を見たときに果たしてその制度や補助内容が時代を反映した内容になっているのか疑問に感じるころはある。今後、共同集会施設が自治会単位で本当に必要となるのか、高齢化が進む中で単なる集会施設でよいのか、それよりは、防災、避難要素を取り入れた総合施設概要を公的に公開し、まちづくり協議会の施設として発展させていくようなことは考えられないか?と思う。 ・(川泉)現状の補助制度が現有施設の解体・撤去についての補助も含まれているかわからないが、新築を前提とした解体・撤去工事なら補助対象なのか?単に現有施設の解体・撤去工事を行う場合は補助対象になるのか?もし対象にならないとしたら項目を追加、明記して欲しい。

【1-2】自治会に対する新たな補助の要望はありますか

- ・(城下)自由に使える補助があると助かります。
- ・(城下)費用補助よりも組織運営についての研修や相談員派遣など、ソフト面での支援が欲しい。
- ・(城下)年2回・3~6万円程度支出している市営・県営団地内の草刈り等の補助を考えて欲しい。
- ・(担当課への要望…情報提供済み)(川泉)公園管理委託契約として委託金が2万円/年支払われているが、電気代(R4年度51,908円)、水道代(同37,863円)は自治会負担であるため増額を希望する。
- ・(川泉)高齢化が加速する中で自治会活動も制限されている。加えて就業年齢の高齢化も進んでおり自治会運営は大変困難な状況にある。補助金は必要ないが、事務合理化、全世帯対象の情報伝達方法について推進して欲しい。
- ・(塩田)自治会役員になる人がいない。どのように運営・活動を維持すべきか？また、年々自治会への加入者が減ってきている。
- ・(塩田)お金の補助ももちろんだが、道路の停止線(白線)が薄くなったり一部消えていたり危ない所が多くある。白線の引き直しは要望しなくても巡回して引き直しをし、住民が交通事故にあわないよう整備して欲しい。そのための職員を自治センターにおいてもらえれば解決できる問題だと思う。あるいは、アスファルトを埋めて道の補修を自治会で行っているように、材料や用具を準備してくれれば、消えそうな白線を自分たちで塗り直すことができるかと思う。
- ・(塩田)自治会役員に対する各事業や会議等に係る手当は10年以上変わっていない。年々役員のなり手がなくなる状況下であるので、補助を増やしていただくことで少しでも手当を上げたい。
- ・(塩田)今年の夏に資源ごみ回収場所に指定している「薬師堂」が自然災害により破損したが、宗教的な事項もあり各種補助金の対象にならなかったため、自治会員に修理費の全額を負担してもらうことになった。こうした場合に何か補助してもらえようようにして欲しい。
- ・(塩田)補助金ではなく各自治会に行政側の人を専属で1人配置してもらい、自治会の相談が円滑に進むような対策が欲しい。
- ・(塩田)公民館(自治会館?)の電気料補助・環境整備(草刈り等)補助
- ・(塩田)自治会の運営や活動内容について検討中
- ・(川西)除草剤購入補助など
- ・(川西)新たな補助希望はありませんが、高齢化率等を考慮して自治会への条件なしの補助金をいただくと自治会費の徴収額を下げ負担減できる。
- ・(川西)組織運営に要する事務費については、役員のなり手が不足してきているため、報酬を引き上げたい。
- ・(川西)各種活動費に要する事業費については、住民からの要望の中で自治会で対応できるものについては自治会で解決したいが、そのためには作業に出てもらおうよう依頼した住民に少しでも多く報酬を出したい。また、重機などの使用代を十分出したい。
- ・(川西)高齢化で自治会費の収入が減少しており、全体的に支援が必要と思われる。

問2 自治会費収入について

【2-3】収入が減少していた場合、どんな対策をしていますか

- ・(城下)未加入、退会者が増えているが転入者も増えているので現時点では収入減少はない。
- ・(城下)自治会員を増やすような活動をしている(人と人とのつながり等、啓蒙活動)
- ・(城下)今年度、自治会未加入ではあるが、除雪等に対応する協力費(3,000円/年)を負担していただいている方を対象に協力費引き上げについてアンケートを実施した。今後検討を重ねていく予定。
- ・(川泉)今は特に何もしていないが、さらに減少が続くのであれば事業縮小を考えないといけない。自治会への加入促進に努めているが、不在屋等が増加しており少しずつ収入は減少している。
- ・(川泉)年1,000円値上げするのに5年かかった。
- ・(塩田)ここ数年はコロナ禍で事業ができず支出が少ないが、今後は事業も回復すると予測される。
- ・(塩田)近年はコロナにより行事が減少していたが、今年から以前と同様に実施している。物価上昇が激しいため、事業費、報酬などの支出を減らす検討しなくてはならぬ。また、このような中での(自治会費の)値上げは厳しい。
- ・(塩田)支出を減らし運営・活動費の補助を市に願い出る。
- ・(塩田)新築の家や宅地造成地が何か所かあり、世帯は増える可能性がある。しかし、自治会未加入者が増えると収入は減少していく。今のところ対策はしていない。
- ・(塩田)今は具体策がなく、年度ごとに検討することになる。
- ・(塩田)収入減少に対する対策はしていません(将来は分からない)。2020年：79世帯→2023年：72世帯。
- ・(塩田)運営や活動内容を検討中
- ・(川西)自治会費は、男性は20歳～68歳3,000円/人、女性は20歳～63歳2,000円/人徴収しているが、女性の年齢と徴収金額を男性の基準に合わせるか検討が必要。
- ・(川西)予算額に対して年度ごとの戸数等により負担をお願いしている。
- ・(川西)方針は決まっていない。

【2-4】自治会費収入の減少に対する市の支援について

- ・(城下)自治会加入に対する住民のインセンティブを高める工夫を検討。退会理由の上位2つは「役員をやりたくない」、「自治会に入るメリットがない」。
- ・(川泉)自治会費の補助よりは自治会の負担を軽減する対策を望む。自治会のあり方についても。
- ・(塩田)自治会に加入しなくてもそのまま生活できるとの声が広がっているため、お金の補助よりも自治会加入の魅力などを理解してもらえるような施策を考えて欲しい。
- ・(塩田)現状維持できれば。
- ・(塩田)現在は減少していないが今後減少した場合補助が必要。
- ・(塩田)市からの若い住民に対する支援が多くありよい。ただし、若い住民は、それにより地域住民との関わりを必要としない風潮があり、入会を拒否したり脱会する。
- ・(塩田)宝くじ助成金のような仕組みを考えて欲しい。
- ・(塩田)各自治会の自治会の実情を精査し、実情に応じた支援をお願いしたい。
- ・(塩田)今のところは不要。
- ・(塩田)収入に応じた活動を検討する
- ・(川西)自治会費が少しずつ減少しているのは高齢化が進み自治会費を徴収する対象年齢を過ぎた方が増えていることが原因。予算の関係でできない事業もあるため市からの補助金の増額があればありがたい。

問3 自治会対象の補助制度等の説明について

- ・(川泉)ほとんどの自治会長は任期1年なのでもっと詳しい説明が必要。
- ・(川泉)特に実例を紹介して欲しい。
- ・(塩田)アンケートの結果と分科会での検討結果をお知らせ願います。
- ・(塩田)役員は毎年変わるので説明会は毎年行って欲しい。
- ・(塩田)3月23日は短時間で説明されたのでわからないところもあったが、補助制度の申し込みがきた時、担当の課に聞くと親切に教えてくれてありがたいが、地区連(塩田規模でも)だとより丁寧に説明してもらえるかと思う。
- ・(塩田)個々の事案が発生した場合はできるだけ担当部署に確認するようにしている。
- ・(塩田)冊子でいただいて、今までどおりその都度声掛けしていただけるとありがたい。
- ・(塩田)今後の自治会活動を考える時、一番気になるのは河川清掃(砂利や土を土手に上げる)や長い道路沿いの草刈り、鳥獣防護柵の修理等、人数ときつい肉体労働が必要となる事業。年々自治会住民は高齢化し、きつい肉体労働はできなくなり、その上自治会入会者も減少となると重労働を外注する、又は費用弁償の額の引き上げも考えなくてはならない。そのために、地域に合わせて自由に使える補助金を出して欲しい。
- ・(塩田)自治会により困っていることには違いがあるので、それに合う補助が欲しい。一律にするのはいかがなものか？
- ・(川西)最近の補助実施自治会の「よもやま話」を聞きたい。

川西地域の班、実行組合等の建物（基幹集会施設以外）

（地域リハビリテーション活動支援事業で使用）

令和5年12月19日



1 浦野自治会 上町実行組合



同 浦野ずく出せサロン R5. 12/4



2 上室賀自治会 入組事務所



同 氷沢にこにこクラブ



3 小泉自治会 日向公民館



同 日向キラキラクラブ



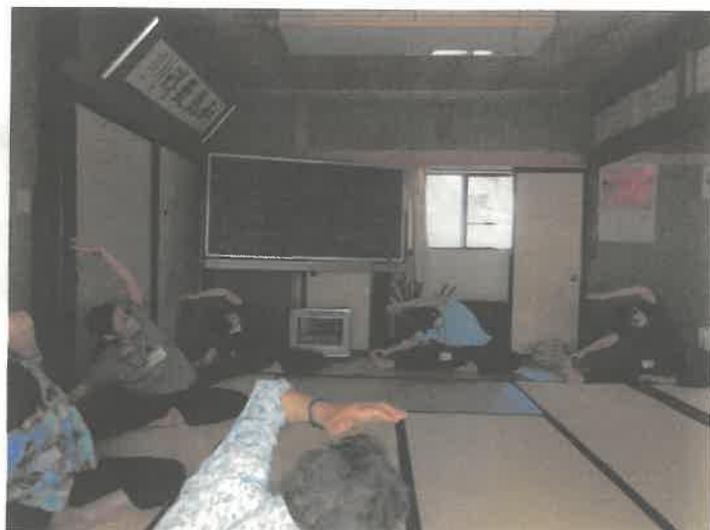
4 仁古田自治会 文化会館



同 仁古田健康教室



5 岡自治会 第三集会場



同 どんぐりヨガ



6 越戸自治会 第一集会場



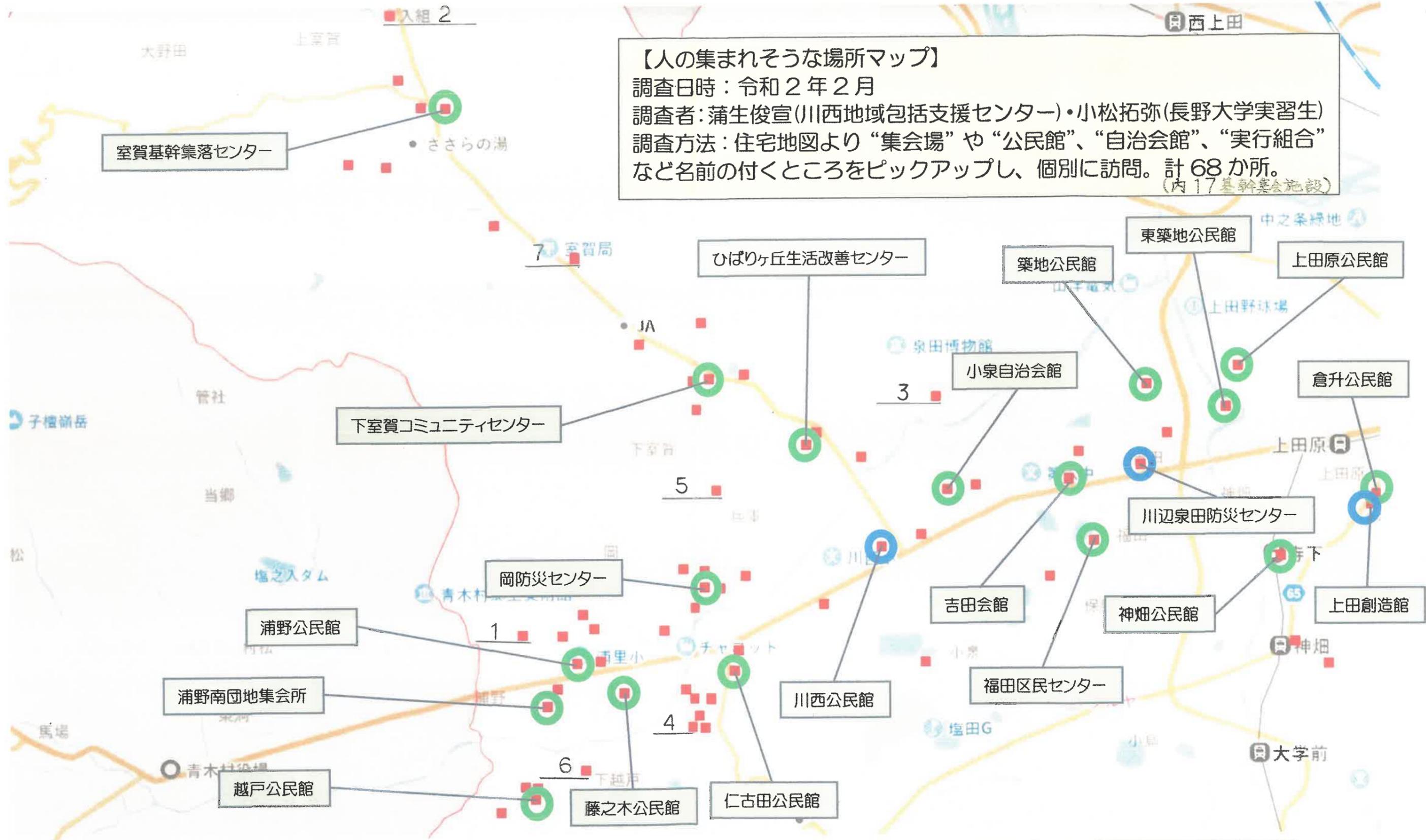
7 下室賀自治会 神宮寺組集会場

【人の集まれそうな場所マップ】

調査日時：令和2年2月

調査者：蒲生俊宣(川西地域包括支援センター)・小松拓弥(長野大学実習生)

調査方法：住宅地図より“集会場”や“公民館”、“自治会館”、“実行組合”など名前の付くところをピックアップし、個別に訪問。計68か所。
(内17基幹集会所施設)



まとめ：人口当たりの集会所の数は、川西地域(⇔川辺泉田地域)の方が圧倒的に多い。
『生活改善センター』や『実行組合』としての集会場が多く、農村地域の名残と思われる。

みんなのしおだ食堂視察レポート

2023年(令和5年)2月19日 塩田公民館

1 発足

平成30年、上原さんが更生保護女性会会長に就任し、子ども食堂としての施設利用について塩田公民館に相談した。公民館でまちづくり協議会や、食と農の会、民生児童委員会、社協、地域包括支援センター等に声がけをし、賛同者を募り、同時に関係者で県の勉強会への参加、保健所への相談、長野大学へのボランティアの募集等を経て、30人ほどの方から賛同を受け、約二ヶ月で10月に団体設立をした。

2 組織

- (1) 団体名 「みんなのしおだ食堂」運営委員会
- (2) 団体発足 平成30年10月11日
- (3) 会員数 26人
- (4) 構成 塩田地区更生保護女性会、塩田の食を楽しむ会をコア団体とし、民生児童委員や塩田まちづくり協議会、塩田地域包括支援センター、個人ボランティアで構成。長野大学生は当初から参加。上田千曲高生も令和元年11月から参加。
- (5) 目的 主に子どもの居場所の確保を目的に活動しており、将来的に「地域共生社会」実現のため対象者の拡大を検討している。
- (6) 主な活動 「子ども食堂」を毎月第三日曜日に公民館で開催。(1130,11.25～)
- (7) 対象 小学生以下の子どもと保護者。(実際は1歳～中学生まで参加している)

3 運営

- (1) 調理 食と農の会、個人ボランティア、上田千曲高校食物栄養科生徒等。
- (2) 遊び、学習 民生児童委員有志、長野大学学生ボランティア(ARASLOレオクラブ)、同社会福祉学部学生。
- (3) 受付、総務 地域包括支援センター、個人ボランティア等。
- (4) 予約 塩田公民館。(個人提供の食材預かり等も行っている)

4 経費

- (1) 信州子どもカフェ推進上田地域プラットフォーム(上田地域振興局内にある県の組織)から米、袋麺、飲物、ゼリー等の提供を受けている。
- (2) 発足当初塩田まちづくり協議会から2年間40万円の補助を受け、調理器具、食器等を購入した。その他、県社協(9万)、農水省(8万)、NPO法人むすびえ(6万)個人支援(5万)等の支援を受け赤字になったことはない。
- (3) 食材提供 農家からの野菜・果物等の提供を受け食材に利用、参加者に配布を行っている。菓子類提供(長福寺)もある。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・参加者のほとんどが親子参加で保護者も楽しんでいる。(母親の居場所になっている)
- ・学習支援が受けられる。(中学生)
- ・公民館で行っているという安心感から気軽に参加できる。また、光熱費等無償で利用させていただくメリットは大きい。
- ・運営に参加するボランティアの生きがいになっている。

(2) 課題

- ・運営スタッフの高齢化。(発足当初からほぼ同じメンバー)
- ・平日の午後に運営できれば良いが、現状は厳しい。
- ・子ども食堂について理解が進んでいない現状がある。



その日のきぶんでじぶんにあった
いばしょに遊びに行こう！！

信州こどもカフェとは？

「こども食堂」って聞いた事はあるかな？
こどもはのど、またはとって安く食べられる
場所のことだよ。みんなが住んでる長野県では、
こうした「こども食堂」と、みんなが楽しく過ご
せる居場所を合併して、月に1回以上行っている
所を「信州こどもカフェ」と呼んでいて、上田
地域にも増えてきたよ。ここはごはんだけでは
なく、高校生や大学生のお姉ちゃん、お兄ちゃん
が勉強を見てくれたり、悩み相談ののってくれ
たりするんだよ。いろいろ面白い遊びを教えてく
れるおじいちゃんおばあちゃんも一緒に、思い
思いに過ごせるみんなの居場所なんだ。自分に
とって居心地のいい「こどもカフェ」を見つけに
行ってみてね！

いろいろあるよ、そうだんばしょ

チャイルドライン (18才以下)

☎ 0120-99-7777

毎日午後4時～午後9時

24時間子どもSOSダイヤル
学校生活相談センター

☎ 0120-0-78310

年中無休24時間/無料

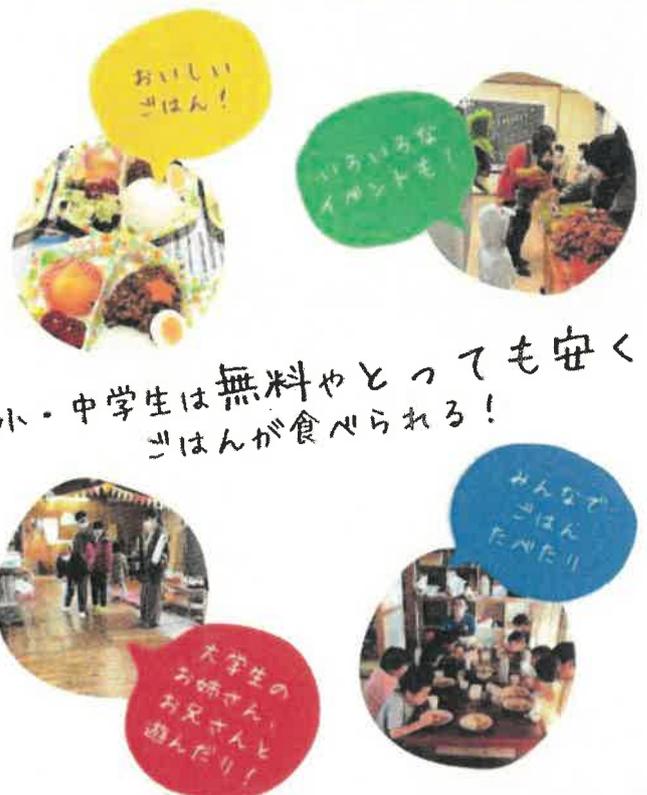
よりそいホットライン

☎ 0120-279-338

24時間/無料

電話/FAX/チャット/SNSでも相談できる！

こどもカフェはこんなとこ



子どもがまんなか！みんなの居場所！

おけまる食堂

毎週水曜 15:00~20:30 毎週木曜 16:30~21:00

📍 上田市常田3-15-50 ローレン堂 中高生児童スペース(OCCOON
上田市中央4-9-1 勤労者福祉センター(11/27日/金曜12:00~15:00)

☎ 090-4161-0999 小林まで(おけまる食堂実行委員会事務局)

👉 高校生以下：無料 大人：お手紙の文は寄付 **食学相**

地域のみより親家庭を対象に活動しています！

英師館

毎月第4土曜日 16:30~19:00

📍 上田市中央6-346 英師マポート1階西

☎ 0268-27-9314 社会福祉法人原嶋輝幸園好子実

👉 子ども、大人共に無料 **食学相**

あそびメニューがたくさん！ごはんもおいしい！

こどもレストランきらっと

毎月第1土曜日 10:00~15:00(時間変更あり)

📍 上田市長瀬2875-3 まるこ福祉会 ぐらんまるしえ

☎ 0268-71-6269 まるこ福祉会

👉 子ども：無料 大人：500円 **食学交相**

大人も子どももホッとできる居場所

おとなと子どもの居間 だらっと

木曜日中心 10:00~14:00 不定期月6回程度

📍 上田市長瀬2875 まんなの居場所しおびり

☎ 090-1992-4905 だらっと堀内まで

👉 子ども：無料(子ども一人での参加は500円) 大人：500円 **食学交相**

みんながつながる楽しい居場所！

みんなのしおだ食堂

毎月第3日曜日 10:00~12:30

📍 上田市中野20 塩田公民館

☎ 0268-38-3103 みんなの塩田食堂 上原まで

👉 子ども：無料 大人：300円程度の寄付 **食学交相**

地域と子どものふれあう場所！

ふれあいサロンhinata boccaこども食堂

毎月第3土曜日 10:00~13:00

📍 上田市常田1192-1 ふれあいサロンhinata boccaとよせし

☎ 0268-75-0066 ふれあいサロンhinata boccaとよせまで

👉 子ども：100円 大人：500円 **食学交**

大との出会いを大切に！何でも相談できる場所！

だれでも食堂

月1回平日夕方(ライン登録で案内が届きます)

📍 東御市井津917-4 井津公民館

☎ 090-9978-9280 とうみの台所 五十嵐まで

👉 子ども、おとな共に無料 **食学交相**

月に1度のレクリエーションや食事！

にじいろcafe

毎月第3日曜日 長地区 10:00~10:30 / 菅平 11:15~11:45
俵場 13:00~13:30 / 本原 14:15~14:45

📍 上田市真田町長9190 真田総合福祉センター

☎ 0268-75-5431 グリッコウの会まで

👉 子ども、大人共に100円(食料配付は無料) **食学交**

あったかい地域の居場所！

武石えんカフェ

毎月第3土曜日 11:00~13:30

📍 上田市下武石742 武石公民館

☎ 090-5975-2566 武石えん話の会 俵田まで

👉 13才未満：無料 大人：300円以上の寄付 **食学交**

まごころチケットと駄菓子を交換できるよ！

さあんこども食堂

毎週木・金曜日 16:00~18:00

📍 上田市真田町長9141-1 さあんであん(サザンサレタなほせりまの)

☎ 090-2447-3941 NPOほこほこ米ワクト 宮下まで

👉 駄菓子など10円~まごころチケット100円で換面無料利用可能

毎週多彩なプログラム！！

子どもだれでも居場所くるね(クルミー)ぶらす

毎週水曜日 15:00~20:00

📍 東御市大日向337 東御市北御牧公民館
ケアポートみまき 東御市布下6-4

☎ 0268-75-0222 まいやば東御まで

👉 各相談機関に相談している世帯や子ども：無料 **食学交相**

みんなが笑顔で気軽に集まれる居場所！

子どもだれでも居場所くるね(クルミー)

月1回土日 9:30~13:00

📍 東御市八重原中八重原1309 長崎村公園(夏期)
ケアポートみまき / 北御牧公民館 / 四季の森等(冬期)

☎ 0268-75-0222 まいやば東御まで

👉 各相談機関に相談している世帯や子ども：無料 **食学交相**

【初開催！】別所温泉エキナカ御利益市

資料 3

- 自分への特別な贈り物、別所温泉でリラックスしませんか？
- クリスマスの思い出は別所温泉で。家族と特別な瞬間を楽しもう！
- 別所温泉の秘密を発見しよう！新たな冒険を求める旅の入口に！



別所線にのろう！

① 別所温泉の優しい湯と 贅沢なスパトリートメントへ！

- 12月22日（金曜日）
- 10時～15時
- カイロプラクティック施術
 - ① 骨盤調整体験15分1,000円
 - ② 全身調整45分4,500円

・今年頑張った 身体の歪みを整えてみませんか？



② 伊勢神宮奉納の丹精込めた 芸術的な「りんご」商品を！

- 12月24日（日曜日）
- 10時～15時



信州 立科町産



「ご利用特典」で隠れた名所へ行こう！ ※マルシェでお買上の方/数量限定

☆あいそめの湯「お食事券&ご優待券セット」、外湯入浴券（石湯/大師湯/大湯）、CAFEスケッチブック「お飲み物券」、別所線オリジナル硬券（持帰り乗車券）等から1点お選びいただきます（予定）。

➤ 防寒対策を万全にしてお越しくださいます様お願い申し上げます！

【開催場所】

長野県上田市別所温泉1853-3上田電鉄「別所温泉駅」待合室
 主催：お休み処&セルフショップ「しゅうぱろ」
 担当：滝沢一秀/Tel.080-5657-6576/LINE ID:kazutaki39
 協賛：別所温泉観光協会/別所温泉旅館組合/別所温泉財産区



別所温泉駅

【サービス紹介】秀プロデュース株式会社

・地域活性化を目的に、新規ビジネス企画・業務改革コンサルティングおよび店舗運営等の多角的な事業を行っています！（一部ご紹介）

上田市別所温泉の北向観音大門通りで下記2店舗を運営

【1】CAFÉスケッチブック ～おもてなし空間～

・地域コミュニティの場所として、みなさまの日々の集い、文化交流、情報交換等のお役に立てることを目指しています。地元の食材を使った軽食と、心地よくつろげる空間を準備して、皆様のご来店をお待ちしています。

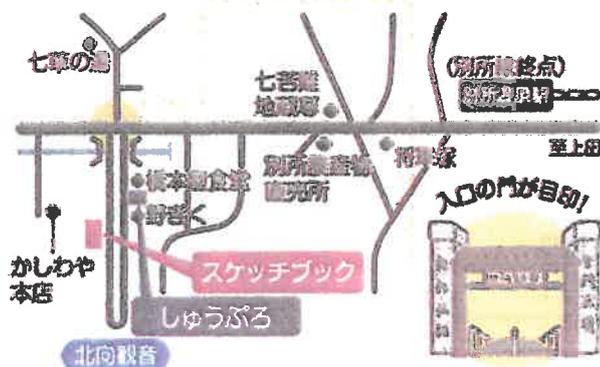
営業時間10:00～17:00/電話080-5407-7038/定休日：水曜日



【2】お休み処&セルフショップ「しゅうぷろ」(レンタルスペース)

・【貸切イベント&テレワーク】温泉外湯まで徒歩1分/wifi大画面モニター/ワーケーションにご利用いただけます。通常は無人運営で入店自由です。

営業時間9:00～17:00/電話080-5657-6576/不定休



【ホームページ
はこちら】



【貸切予約は
こちら】



2023年11月10日

別所温泉観光協会員様
一般出店希望者様

**観光協会員様
先行受付～11月20日迄**

別所温泉観光協会
協会長 山田圓淳



【出店者募集】

上田電鉄 別所線 駅ナカサービスを始めます！！

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
2023年度より新体制となり、さまざまな取り組みを行い、別所温泉の発展に努めて参る所存です。このたび、上田電鉄様との協業により別所線「駅ナカサービス」を企画して実施する運びとなりました。是非、この機会に出店をご検討賜ります様、下記のとおりご案内いたします。

敬具

—記—

1. 目的：主に別所線サービス向上による誘客、観光協会員様の事業拡充
2. 場所：別所温泉駅（当面）※対象スペースは別紙「承諾箇所」
※順次、八木沢、舞田、塩田駅、中塩田駅、下之郷駅、大学前駅等に拡大予定。
3. 募集出店者：別所温泉観光協会員、一般出店希望者（個人・団体等）
4. 出店料金（税込み）：

出店者形態	回種	料金/回	備考
別所温泉観光協会員	一律	2,500円/回	※1出店料金/日とする。
一般出店希望者	1回	3,000円/回	
	連続回	2,500円/回	

5. 出店者様の特典：
 - ・別所温泉エリアの主な旅館、温泉施設他に広告等の配布が可能です。
6. 出店日：基本的に毎週、金・土・日曜日
および観光協会が任意設定日（祝祭日、年末年始等）
7. 時間帯：AM9時～17時の間
8. 出店規約：別紙「上田電鉄_別所線_駅ナカサービス」出店規約のとおり
9. 開始時期：2023年11月～随時受付
10. 想定来客者：地域住民および観光客等
11. 申込方法：別紙「出店申込書」により、下記窓口にご連絡くださいませ。
 - ・別所温泉観光協会（環境整備まちづくり委員会）：滝沢一秀
 - ・電話：080-5657-6576/LINE ID:kazutaki39
 - ・メールアドレス：kazu@syuproduce.co.jp

別所温泉観光協会宛
上田電鉄_別所線_駅ナカサービス
【出店申込書 兼 出店者証】

【申込方法】

- ・出店規約にもとづき、出店申込書により対面で受付させていただきます。
- ・料金は、申込時に現金を添えて事前支払いをお願いいたします。

申込日： 年 月 日

出店日時	1) 年 月 日 (曜日) 時～ 時 2) 年 月 日 (曜日) 時～ 時 3) 年 月 日 (曜日) 時～ 時
出店内容 (分類)	
形態 (○印)	別所温泉観光協会員 ・ 一般出店希望者
事業者名	
住所	
責任者名	
電話	
メールアドレス	
別所線利用特典	
お支払料金	円/回X 回 = 円

-----出店者様へ-----

【お願い事項】

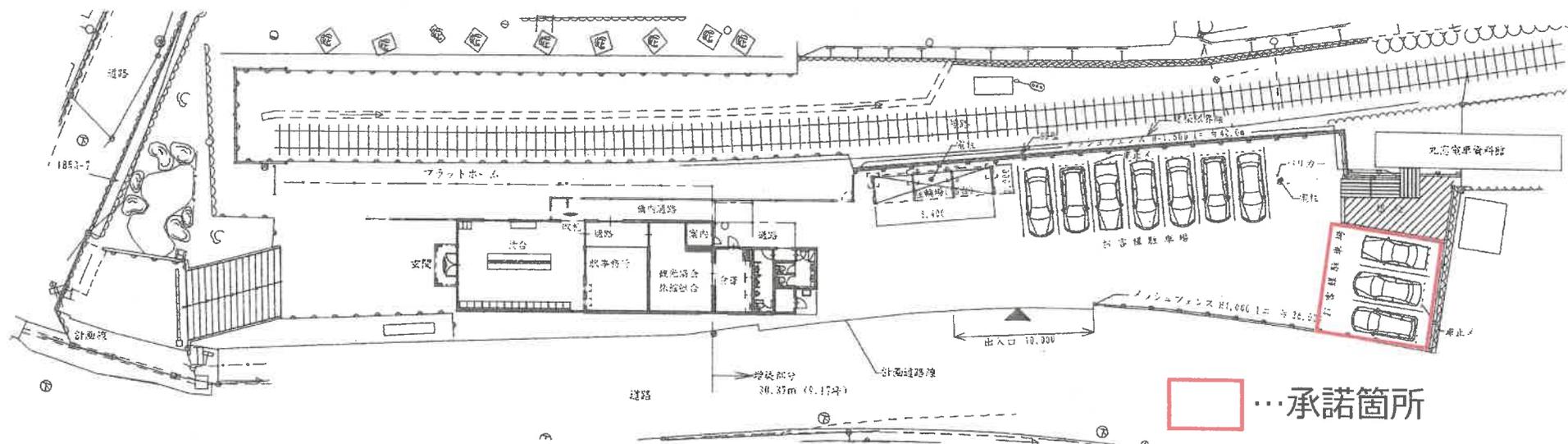
- ・来客者が、上田電鉄別所線を利用の場合、各出店者様より「**利用特典**」のご提供をお願いいたします。

【主な注意事項】

- 1) 出店用一切の機器、備品等は出店者様にご準備をお願いいたします。
- 2) 飲食サービスの場合、露天商許可等が必要となります。
- 3) 利用後の清掃および原状復帰をお願いいたします。
- 4) 電気使用は行わないものとする。

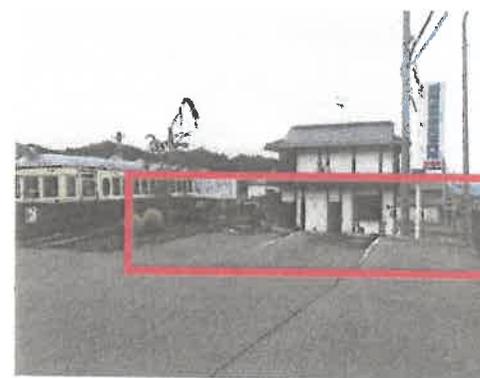
別所温泉観光協会 【受付】
月 日

上田電鉄別所線_無人駅ナカサービス 別所温泉駅 対象スペース平面図【全体】 2023/11/10



【承諾箇所】

- ・場所：お客様駐車場（右奥3台分相当）
- ・総面積：約7m×約5m
- ※区画分割出店可（別所温泉観光協会へ相談）
- ・電源：無し
- ・想定出店：各種マルシェ、キッチンカー等



1.大豆の生産量と販売先（令和4年JA取扱量）

(1)「ナカセンナリ」30kg紙袋8418個（約252t）

【販売先内訳】

全農 5566袋（66%）⇒全農采配で主に県内加工業者（豆腐、納豆、味噌）に振り分けられますが、商社を通じて全国に流通します。

商社等 2,763袋（34%）⇒塩田産大豆を懇意にしている業者に購入いただいています。

豆腐会社（東京）、味噌醸造（県内）、味噌醸造（地域内）

【用途】

ナカセンナリは長野県で開発された品種です。長野県内では主力となる品種ですが、全国的には希少な品種となります。

味噌、豆腐、納豆いずれの用途にも広く使用されています。

市内の学校給食に年に数回塩田産のナカセンナリが使用されています。

(2)「こうじいらず」30kg紙袋290袋（約9t）

【販売先内訳】

生産量、取扱量じたいがわずかで、大半は地元や県内商社を通じて固定のお客様に流通しています。

中塩田活性化組合等、地元の味噌業者や個人で味噌を仕込むお客様で直接買いにお越しいただく方も数名いらっしゃいます。

【用途】

大豆としての用途は、もっぱら味噌用となります。

枝豆としても美味ですが、直売所等も含めほとんど流通はしていません。

2. 加工品について

塩田産大豆は、流通量こそ少ないながらも、在来種である「こうじいらず」の独自性や種子大豆生産地という技術力の高さから従来それなりに高値販売できている。

こうじいらずについてはキログラムあたり、300円～400円程度、

2. セミドライ加工施設について（西部営農課高橋課長より聞き取り）

- ・浦里選果場（浦里小学校の東側）で本年から稼働開始した。
- ・本年はりんごのみ、試験的製造を行っている状態。
- ・秋映（あきばえ）、シナノゴールドのセミドライを製造し、これからふじを行う。

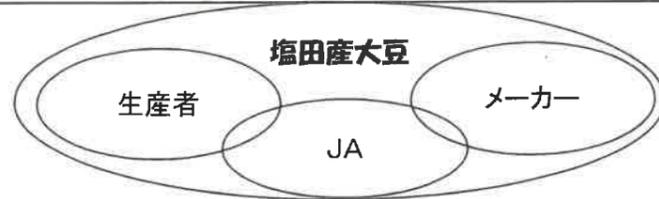
- ・製造量は現状では不明、12月に製品化して試験販売を行うとのこと。

- ・皮むき器はあるが、果実のカットは手作業によるところもあり手間がかかるとのこと。
- ・通常のドライフルーツと違って、果実の状態（品種、硬さ、水分）を見ながらこまめな機械の調整をすることが必要で、調整方法を統一するのに、今年は試験的な製造を繰り返しているそうです。

- ・12月に商品化されたときには役職員含めご案内を行い、管内直売所やJA関連会社へのご案内も行ってゆきます。

- ・事業主体は西部地区営農活性化委員会で、作業は役員さんはじめ上田市農業支援センター専任推進委員、西部営農課の職員も携わりながら行っています。

塩田産大豆で広がる地域の和運動



品種：ナカセンナリ

塩田産大豆がつなぐ産地・JA・メーカー一体となったパートナーシップの構築

塩田産大豆の生産体制の整備をすすめています

大豆生産体制の整備が進む(1)

補助金(リース型)利用による機械導入

大豆生産体制の整備が進む(2)

大豆採種組合による製麦装置の充実
(上田県による水田営農支援基金の導入補助金利用)

大豆生産体制の整備が進む(3)

産地に対応するため、新設のコンテナ倉庫
(上田市の取り組みによる補助金も活用)



☆塩田農産物集出荷貯蔵施設内に大型の大豆乾燥調製施設が設置されました。

☆他にも塩田の取り組みを発端として、管内全域で大豆の生産振興が図られています。

パートナー企業との連携を進めています。



若手農業者グループしおだSUNダイズを中心としたユーザーへの情報発信



大豆栽培の講習会
講師は納豆の村田商店村田社長



メーカーさんとの情報交換会の実施



首都圏での大豆消費運動

地域と連携して生産基盤の確保に努めます



集団転作の維持



後継者育成・新技術の見学

大豆を資源とした協同活動がすすめられています

大豆を資源に組合員の協同活動

- 信州塩田のこだわり味噌の製造、販売
- 味噌用大豆(こうじいらず)の共同生産
- グループによる大豆生産の広がり

大豆オーナー制度の活動

- 地域の魅力を伝える活動

学校教育現場(食育)の支援

- 中塩田小学校(2年生)で大豆栽培の実習
- 大豆加工品づくりの実習

地元産業との連携

- おみやげの創出⇒村長さんのおやつ、高野豆腐
- 観光業と連携した新しい農業(今後検討)

塩田産大豆はこだわりの商品に生まれ変わります。

松本市: 田内屋

伊那市: 登喜和冷凍食品

宮田村: 宮田とうふ工房

長野市: 村田商店

諏訪市: 丸高蔵

【目指すところ】

① 管内Aコープ、地元直売所への貢献

- ・各メーカーと連携した加工品の品揃えの充実
- ・ジャム、ジュース、ドレッシングなど既存の商品との相乗効果
- ・地域の特産品のPR

② メーカーへの貢献

- ・原料の安定供給・品質向上
- ・きめ細かい産地情報の提供
- ・加工品の消費で貢献
- ・顔の見える産地としてイメー ジアップに貢献

③ 生産者への貢献

- ・生産意欲の喚起、生産量・品質アップ
- ・実需に応じた品質対応や栽培技術の向上
- ・栽培環境の整備
- ・農家経営安定化への寄与
- ・産地イメージの向上で、果実や野菜などとの相乗効果

④ 地域への貢献

- ・大豆を資源とした協同の取組みの促進
- ・大豆作付けで遊休農地の減少や田園風景の維持
- ・地域色の強い土産の創出で地域の魅力アップ
- ・観光業とのタイアップ
- ・食育の喚起、学校教育現場への支援
- ・田園風景で地域のイメージ向上(だいの里構想)
- ・みんなでつくる大豆産地

現状
100ヘクタール150t規模

↓↓
将来
300ヘクタール600t規模

塩田産大豆を核に水田農業経営の安定を図りたい。

塩田産大豆を突破口に米穀販売の突破口を開く。

持続的な農業経営と農村風景の維持。